

謹賀新年

新年明けましておめでとうござい
ます。

皆様には、ご家族お揃いで輝かし
い新春をお迎えになりましたことと
存じます。先ずもって心からお慶び
を申し上げます。

さて、昨年は奥出雲町が誕生して
10周年の年となりました。5月には
合併記念式典を開催し、多くの皆様
をお迎えして、盛大に行ったところ
です。また、4月に開催された奥出
雲ウルトラおろち100⁺遠足（と
おあし）では、37都道府県から多く
の選手に参加いただきました。また、
6月にはNHKラジオ公開録音「ふ
るさと自慢うた自慢」、8月には
「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体
操会」を開催し、町民の皆様の元気
な声を全国の方々に届けたところ
です。その他、合併10周年の冠をつ
けた様々な事業で記念の年を祝うこ
とができました。

また、島根県を舞台にした映画作
品で知られる錦織良成監督による
「たたら」を題材にした映画「たた
ら侍」の撮影が、県内を中心に行わ
れ、町内でも1月と10月に行われま
した。現在、世界で唯一「たたら操
業」が行われている奥出雲町では、
この映画を機に「たたら」と「奥出
雲町」が全国に広く知れ渡って行く

準備という輝かしい成績でした。

農業においては、11月に開催され
た第17回米・食味分析鑑定コンク
ール国際大会において、奥出雲仁多米
（株）が特別優秀賞を受賞いたしま
した。惜しくも6年連続の金賞とは
ならなかったものの、TPPの影響
等が懸念される中であって、ブラン
ド価値の高い良質米であることを、
国内外に発信できたものと考えてお
ります。

なお、10月には「奥出雲町まち・
ひと・しごと創生総合戦略」を策定
しました。今後の人口ビジョンは町
にとって大変厳しいものとなってい
ますが、昨年4月から地域おこし協
力隊として県内外から奥出雲の地に
魅せられた7名の隊員が町内で活動
しております。今後もふるさと奥出
雲を守り、さらに発展させていくた
め、総合戦略で計画した内容を着実
に実行していきたいと思えます。

さて、本町の平成27年度的一般会
計予算は、12月補正予算後で172
億2700万円を計上することにな
りました。

生活基盤整備、雇用対策、定住対
策、子育て支援など、当面する諸課
題に対応するとともに、現在の経済
情勢に鑑み、切れ目ない景気対策を
行い、町の振興と発展、町民生活向
上に努めているところです。

事を期待しております。今後は、こ
の世界に誇るべき「たたら」を、日
本遺産登録、世界遺産登録に向け、
近隣の安来市、雲南市と連携しなが
ら、取り組んで行きたいと考えてお
ります。

スポーツにおいても、横田高校男
子ホッケー部は、3月の全国高校選
抜ホッケー大会で見事優勝を果たし、
さらに8月の全国高等学校総合体育
大会ホッケー競技では準優勝に輝き
ました。また、全日本中学生都道府
県対抗11人制ホッケー選手権で、横
田中と仁多中の男子選抜チームが10
年ぶりとなる優勝を手にし、奥出雲
町の名を全国に轟かせ、町民を勇気
付けてくれました。2020年に開
催される東京オリンピックでは、
「ホッケーの町」として、ホッケー
チームの事前合宿を誘致するため、
7月に招致委員会を設置したところ
です。将来のオリンピック選手にな
る可能性のある奥出雲町の子ども達
に、世界の技に触れてもらう機会を
つくるため、ぜひとも実現させたく
考えております。

8月には、益田市で開催された第
59回島根県消防操法大会において、
奥出雲町消防団は小型ポンプの部に
出場した亀高分団が見事優勝、また
ポンプ車の部に出場した横田分団も

特に、今年是新仁多庁舎の完成を
予定しております。公共施設の耐震
化・防災拠点の整備を図り、また、
新庁舎が町民の皆さまの新たなコミ
ュニティの拠点となることを期待し
ています。

平成26年度決算に基づく町財政の
健全化判断比率については、普通会
計ベースで、実質公債費比率は15・
7%と対前年度比1・6ポイントの
減となり、また将来負担比率も17
3・4%と、対前年度比4・6ポイ
ント減と改善しました。財政の健全
度をみる指標である経常収支比率は、
86・2%と対前年度比で3・2ポイ
ント上昇しましたが、今後もよりい
っそう健全で持続可能な財政運営に
努めてまいります。

本年も引き続き、町民の皆様から
要望の多い生活基盤の整備や農業の
振興、観光振興や定住対策に努めな
がら、財政運営には細心の注意を払
ってまいります。

結びになりますが、本年が皆様
にとりまして、明るく希望に満ちた幸
多き年となりますよう、心からお祈
り申し上げます。新年のごあいさつとい
たします。

平成28年 元旦

奥出雲町長 勝田 康則

